

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援みんな		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～		2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ～		2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の年齢や経験してきた職種などが多様であり、支援について対応できる幅が広い。	・支援について、職員それぞれの強みを生かすとともに、他の職員もお互いに研修し合えるように、支援の担当の組み方やグループ活動を工夫している。 ・気が付いたことや気になることは、毎日の朝礼等で職員全体に共有するようにしている。	・経験の長い職員から講師になってもらい、職員研修を実施する。 ・記録の活用など短時間でできる情報共有を職員間で実施する。ICTの利用を検討する。
2	・個別支援計画に基づき、個に応じた支援を実施している。	・資料や記録の回覧、職員間の連絡ノート、ソフトの記録欄などで、児童の様子や支援について、情報共有している。 ・支援のねらいや内容について、常に児発管や経験豊富な職員からアドバイスをもらう。	・PDCAに基づき、改善できるところは早め早めに対処する。 ・支援のためのツールを職員間で共有する。
3	・多機能型の事業所で、それぞれの事業でつながりをもちながら支援を実施している。	・児童の課題に応じて、交流を実施している。 ・訪問支援を実施している児童に対しては、事業所内での支援とつながりをもって、訪問支援をしている。 ・必要に応じて、進路相談等に応じている。	・学校や相談支援事業所、その他の機関との連携を深める。 ・移行支援等について、保護者等の意向を十分にお聞きして把握したうえで、検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・開所まもないこともあり、地域とつながる場面が少ない。	・学校とのつながりはあるが、地域とのつながりとなるイベント等への実施や参加はまだない。大きなイベントは難しいので、何ができるか整理して考えていかなければならない。	・近くの店舗や施設に出掛ける等の活動を検討する。 ・社会参加における個別の課題を洗い出し、個に応じて地域理解やQOLを高めるための活動を設定し実践する。
2	・多機能型の事業所であるため、会議や研修の時間が取りにくい。	・既に工夫している面もあるが、長期休業等で忙しくなると、時間が不足しがちである。	・PDCAに基づき、改善できるところは早め早めに対処する。 ・支援のためのツールを共有する。 ・年間を見通した計画立案を心掛ける。
3	・家族、兄弟に対するイベントは、まだ少ない回数しか実施していない。	・開所してまもないため、家族、兄弟向けの行事等については、検討を始めた段階である。	・実施に向けて、引き続き検討していく。